

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団
公演団体名	公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団

内容	
能楽の解説	能楽とはどんな芸能か、映像も使用しながら、わかりやすく解説します。
舞と謡の鑑賞	能楽界の第一線で活躍をしている能楽師が舞い、謡うという本物の古典芸能を目の前で鑑賞していただきます。
謡、仕舞の体験	本公演で演じられる「舍利」の舞と謡を体験していただきます。謡は全員で、舞は事前に希望者数名を選んでおいていただき、お稽古をします。本公演では、その成果を発表する時間があります。ワークショップ終了後、本公演までの間、自主練習をしていただき（お稽古のための映像、音声資料を提供）本公演での発表に臨んでいただきます。

タイムスケジュール（標準）
学校様の2時限分、途中休憩をはさんで使わせていただきます。 1. 能の解説・舞と謡の鑑賞・謡、仕舞の体験 45分または50分 （休憩10分） 2. 謡、仕舞の体験 45分または50分

派遣者数
指導者4名

学校における事前指導
可能であれば、能楽に関する本やインターネットなどを使って、先生と児童生徒ともに事前学習をしておいてください。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団
公演団体名	公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団

演目
① 絵本語り 「舎利（しゃり）」 ② 児童生徒共演による仕舞 ③ 能 「舎利（しゃり）」

派遣者数
合計25名（出演者17名、スタッフ8名）

タイムスケジュール（標準）								
8	9	10	11	12	13	14	15	17
	到着・設営		リハーサル・昼食		開場	公演	終演 撤去 搬出	退館

実施校への協力依頼人員
2名程度。 電源の説明、学校の音響設備の準備、控室の確保、暖房設備の準備（秋・冬期）などをお願いいたします。

演目解説

① 絵本語り「舎利」

能のお話を絵本にした「舎利～韋駄天と足疾鬼」(文：片山清司、絵：小田切恵子)の絵を紙芝居のようにスクリーンに映し出し、絵本の朗読をいたします。お話の内容がよくわかるので、後で本物の能をみていただく際にこの絵本語りが、鑑賞の大きな手引きとなります。

② 児童生徒共演による仕舞

能楽師の指導にて、児童・生徒がワークショップでお稽古した謡と仕舞を舞台上で披露いたします。

③ 能「舎利」

作 者： 不明（従来は世阿弥とされていた）

素 材： 『太平記』巻八「谷堂炎上の事」

登場人物： 前シテ 里人

後シテ 足疾鬼

ツレ 韋駄天

ワキ 旅僧

アイ 泉涌寺の舎利堂守

場 所： 京都、泉涌寺（現・京都市東山区今熊野）

京都、泉涌寺を舞台に仏舎利を盗んで逃げる足の速い鬼・足疾鬼（そくしっき）とそれを追いかける泉涌寺の守護神・韋駄天（いだてん）のお話です。天空を自在に翔けめぐり、息もつかせぬ両者の攻防が見ものです。壮大な古典ファンタジーをお楽しみいただきます。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

当日の公演の時に、児童生徒が舞台上で謡、仕舞の発表をいたします。ワークショップのお稽古に始まり、自分たちで公演までの期間にお稽古をして、公演当日の発表を経て、そして本物の舞台をみるということで、単なる舞台鑑賞ではなく舞台と一体となった参加意識が高まると確信しております。

児童生徒とのふれあい

終演後、質問の時間を設け、出演の能楽師が直接、児童生徒の疑問に答えます。